

《Lesson 5》 疑問詞 + 進行形の疑問文

【疑問詞＋一般動詞の過去形の疑問文：基本の形】

疑問詞 + be 動詞 + *主語 + 一般動詞の原形 ing + ～？

*主語をたずねる疑問文の場合は「主語」の部分はなくなる

<例> **Where** were you studying English? — I was studying at the library.

(どこであなたは英語を勉強していたのですか — 私は図書館で勉強していました)

Why are you making that now? — Because I need it tomorrow.

(なぜあなたは今それを作っているのですか。 — 私は、明日はそれが必要だからです)

Who is teaching math? — Mr. Suzuki is. 【主語をたずねる疑問文】

(誰が数学を教えているのですか — 鈴木先生です)

【作り方】

ステップ1: 疑問詞の部分(何、いつ、など)に同じ種類の**適当な単語**を入れて**疑問文**を作る。

(主語をたずねる疑問文の場合は、**肯定文**を作る)

ステップ2: 入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻す。

(主語をたずねる疑問文の場合は、更に文の最後を“?”にして終了)

ステップ3: 疑問詞を**文頭**に持ってくる。

<例1> 「どこであなたは英語を勉強していたのですか」という文の場合。

ステップ1: 疑問詞の部分(どこ)に同じ種類の**適当な単語**を入れて**疑問文**を作る。

→ 「あなたは昨日**図書館**で英語を勉強していたのですか」

Were you studying English at the library?

ステップ2: 入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻す。

Were you studying English where?

ステップ3: 疑問詞を**文頭**に持ってくる。

Where were you studying English?

<例 2> 「なぜあなたは今それを作っているのですか」という文の場合。

ステップ 1: 疑問詞の部分（なぜ）に同じ種類の**適当な単語**を入れて**肯定文**を作る。

→ 「明日必要なのであなたは今それを作っているのですか」

Are you making that now because you need it tomorrow?

ステップ 2: 入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻す。

Are you making that now why?

ステップ 3: 疑問詞を**文頭**に持ってくる。

Why are you making that now?

<例 3> 「誰が数学を教えているのですか」という文の場合。【**主語をたずねる疑問文**】

ステップ 1: 疑問詞の部分（誰）に同じ種類の**適当な単語**を入れて**肯定文**を作る。

→ 「**彼**が数学を教えています」

He is teaching math.

ステップ 2: 入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻し、最後を？にする。

Who is teaching math?